



## SAS コミュニティメンバー各位

明日授業を再開するにあたり、中国・武漢で発生したコロナウイルスが広がる中で、学生とスタッフの安全を確保するために私たちが講じている予防措置を十分に認識していただきたく思います。[ここをクリック](#)して、保健省からの最新情報をご覧ください。

学生とスタッフの健康と安全は私たちの最優先事項です。私たちが取っている対策は、シンガポール政府が学校向けに本日発行したガイドラインに従っています。学生とスタッフの安全のために、主要な国際旅行および健康相談会社の一社である International SOS の医療専門家との協議に基づいて、追加措置もいくつか実施しています。

**次の情報をお読みになり、お子様が明日 1 月 28 日に授業を再開するか、または後日までお待ちになるかをご確認ください。**

- 1 月 13 日以降のいずれの期間でも中国本土に旅行したすべての学生は、シンガポール政府が定めたように、14 日間は休学してご自宅に留まる必要があります。その 14 日間は、学生が中国本土から戻った翌日から数えるものとします。
- さらに、学生のご自宅にお住いのご家族が 1 月 13 日以降に湖北省に出入りした場合、その方がシンガポールに到着してから少なくとも 2 週間経ち、発熱や呼吸の病気の兆候が見られないまで自宅待機しなければなりません。
- 熱のある学生は全員すぐに帰宅していただくことになります。学生が過去 2 週間に旅行していない場合、発熱を抑える薬を使用せずに 48 時間発熱・症状がない状態になった後に復学することができます。お子様の健康についてご質問や懸念がある場合は、かかりつけの医師にご相談ください。
- 中国に旅行したことはないが、1 月 13 日以降にシンガポール以外の他の国に旅行し、呼吸器疾患の症状（咳、鼻水、のどの痛み、発熱、呼吸困難など）があるすべての学生は、クラスに戻る前に医師から復学許可を取らなければなりません。

これらの注意事項は、教員、キッチンスタッフ、学生を訪問しているすべての大人にも適用されることにご注意ください。

長期間学校を休む必要がある学生については、必要な指示と課題を受け取るために教師にご連絡するようお願いいたします。学校を休むことは難しいと思いますが、その期間皆さまをサポートするために私たちは最善を尽くします。

保護者の方は、毎日午前と夕方にお子様の体温をチェックし、37.5 度を超える発熱のある場合、学校からお休みしていただくようお願い致します。お子様の健康を最前線で守る保護者の皆さまの役割は重要です。ご質問がある場合は、医師にご相談ください。

キャンパスで新たに雇用された3人の契約看護師は、明日の朝早くから勤務を開始します。これにより、看護の専門家は合計で8人になります。看護師は、特に早期学習センターの最年少の学生に重点を置いて、発熱や呼吸器疾患の懸念や症状があるお子様に集中的にケアを提供いたします。ELCの生徒は全員、明日の午前中に看護スタッフによって審査され、高校の食堂ではなく ELC スペースで昼食を食べます。

また、学校全体で定期的に体温のチェックを行います。看護師がこれらの対策に注力できるよう重要と考慮されない医療関連の問題は、それぞれの小中学校のオフィスで対応いたします。SASは、オフィスで迎えを待っている医療従事者と病気のお子様にマスクを提供いたします。

最後に、コミュニティで何らかの事例が発生した場合に連絡先を把握できるように、1月13日以降の旅行については、すべてのコミュニティメンバーに次の[旅行宣言](#)を完了するようお願い申し上げます。この情報は機密情報として扱われ、必要に応じて医療関係者のみが使用します。

お子様に固有の質問がある場合は、学区の校長または副校長にお問い合わせください。これらの安全対策について一般的な質問がある場合は、学校安全委員会の委員長であるキム・クリエン氏 ([KCriens@sas.edu.sg](mailto:KCriens@sas.edu.sg)) にお問い合わせください。

これらの措置を講じるにあたり、コミュニティのご支援とご協力に感謝いたします。このような挑戦と不安に満ちた時期には、パニックに陥ることなく、密接に協力しなければならないことをコミュニティの皆さまに思い出していただきたく幸いです。

最後に、これは現在も発展中の状況であることにご注意ください。状況に応じて追加の措置を講じる場合もあります。また、学校からのご連絡に細心の注意を払うようご家族の皆さまにお願い申し上げます。

これらの対策にご協力いただきありがとうございます。

よろしくお願い致します。

トム・ボアスバーグ  
教育長